



在マレーシア日本国大使館付属ジョホール日本人学校

学校便り Respect



令和3年7月30日

No. 5

令和3(2021)年度 1学期終業式 校長あいさつ

校長 川口 浩

みなさん、おはようございます。

4月16日の始業式から始まった1学期も、今日が最終日である、終業式となりました。本年度最初は、学校で授業を受けることができました。その後、途中からオンライン授業に切り替わりましたが、昨年度とは違い、登校時とほぼ同じ時間割・時間帯で授業を継続することができたのは、皆さんの頑張りや勿論ですが、教職員の方々の努力や、お家の人の支えがあったことも忘れてください。

マレーシアは現在、感染防止のためのロックダウンを実施しています。また、ワクチンの接種も進んでいるので、やがては、新型コロナウイルスの感染状況が改善し、どこかの段階で登校し、学校で授業を実施できる日がやって来ると思います。早くその日が来ることを強く願っています。

さて、7月の朝礼でもお話しましたが、今、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されています。先日は、先生もテレビで開会式の様子を見ました。新型コロナウイルスの中、大変な思いをして世界中からやってきた選手たちが、練習の成果を発揮し、無事に大会を終えてくれることを祈ります。

さて、皆さんは、この17のロゴを見たことはありますか？東京オリンピック・パラリンピックとは関係ありません。これは、SDGs（持続可能な開発目標）といって、2015年の国連サミットで全会一位で採択された、2030年までに地球全体で達成するための目標です。地球全体で達成しようとするわけですから、皆さんも当然関わることになります。

先ほど、東京オリンピック・パラリンピックとは関係ありませんと言いましたが、実はそれは間違いで、世界全体で達成する目標なので、地球で行われるすべての行事も、SDGsの視点から実施されなければならないのです。いくつか例を見てもらいます。

まず初めは、この写真を見てください。何かわかりますか？これは、オリンピックのメダルです。金、銀、銅の金属を主な原料にして作られています。さて、皆さん、このような金属は、どのようにして作られるか知っていますか？金属は、すべてその金属の成分を含んだ鉱石を溶かして、成分を取り出して作ります。ところが、このオリンピックのメダルは違います。いらなくなった携帯電話やデジタルカメラから作られたのです。「えーっ、どうやって？」と思うかもしれませんが、実は、携帯電話やデジタルカメラには、わずかですが金、銀、銅などの金属が使用されており、それを集めて、金属を溶かしメダルにしたのです。オリンピック・パラリンピックで必要な約5000個のメダルを作るために、600万台以上の携帯電話やデジタルカメラをリサイクルしたそうです。

次はこれです。何かわかりますか？これは、聖火リレーで使われたトーチです。開会式の最後にテニスの大坂なおみ選手が聖火台に点火したときに使われたものです。同じものが11000本作られ、様々な人が手をもって日本中をリレーされました。材料はアルミを中心とした金属です。アルミはボーキサイトとい

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



う地下資源を溶かして作りますが、このトーチもある物をリサイクルして作られました。それは、東日本大震災に関係しています。東日本大震災では、地震による津波で多くの方が家を流され失いました。家を失った人々は、仮設住宅という仮の住宅で生活をしました。その仮設住宅で使用された、家の窓やドアなどで使われたアルミをリサイクルして、聖火のトーチは作られたのです。そこには、限りある資源のリサイクルとともに、被災地の復興という思いも込められています。

最後にもう一つ、これはオリンピックの選手村で使用されているベッドです。何でできているかわかりますか？このベッドの土台は、段ボールでできています。マットレスは、ポリエステルというプラスチックで作っています。なぜそのようにしたかという、段ボールの土台は、オリンピック後は新聞紙等に再利用し、マットレスもビニール袋等にリサイクルするためです。

3つの例を挙げましたが、このように、今回の東京オリンピック・パラリンピックは、SDGsという視点からも様々な努力や工夫がなされた大会なのです。

SDGs大切なことは、“誰かがやるではなく、自分が地球のために何をやるか”という視点です。大それたことをする必要はまったくありません。使っていない部屋の電気を消す、水の無駄遣いをなくす等、身の回りにできることはたくさんあります。先生がいつも『自分もまわりも良くできる人になってください。』というのは、皆さんに、このSDGsの目標を達成できる人になって欲しいからという願いもあるからです。

先生から、学校としての夏休みの宿題を1つ出します。それは、『夏休み期間中、SDGsに関して、自分でできることを1つ決めて、実行する。』というものです。2学期の始業式の日、何をやったか聞くので、その時に答えられるようにしておいてください。先生も、何か1つ実行して皆さんに報告します。参考として、今日配布する封筒に、先ほど見てもらったSDGsのロゴを印刷した紙をいれておきます。何をやればよいのか、よくわからない人は、お家の人に相談してみてください。それでは、新型コロナウイルスには、十分注意して、充実した夏休みを過ごし、9月1日の始業式に元気な姿で集みましょう。

◎保護者の皆様へ



- 1 終業式の挨拶でも、述べさせていただきましたが、この1学期期間中、様々な面で学校運営にご理解ご協力を頂き、教職員一同、心より感謝申し上げます。特にオンライン授業では、授業の補助や Wi-Fi 環境の整備等にご尽力いただきありがとうございました。
- 2 9月1日の始業式が、登校でき学校で実施できるのか、今日のようにオンラインで行うのかは、まだわかっておりません。マレーシア政府の通達確認後、方針が判明した段階でご連絡を差し上げます。政府の発表が、新しい方針の実施直前ということもこれまで度々あり、ご迷惑をおかけする場合がございますが、ご了承ください。登校できた場合は、今まで同様 SOP 遵守のための除菌グッズ等の準備をお願いいたします。運動会やペスタクラパなどの行事も、今後の政府の発表を見ながら、実施できるかどうか、実施できる場合は、どのような内容になるかを考え、お伝えしていきたいと考えております。なお、対面授業可能となった場合の9月行事予定を、8月上旬に学校ホームページに掲載いたしますのでご確認をお願いいたします。
- 3 2学期以降もオンライン授業となった場合は、夏休みの最後(8月30日)にまた、配布・回収で教員が回るかもしれません。場所・時間等に関しましては、追ってご連絡を差し上げます。
- 4 9月よりバス会社に変更になります。残念ながら、7月も最後までオンライン授業となり、今までお世話になったバス会社の人たちとお別れができませんでした。新しいバス会社は、バスの形や運転手も違います。最初は戸惑うかもしれませんが、今まで通り、しっかりとマナーを守って利用できるよう、各ご家庭でご指導をお願いいたします。新型コロナウイルスの状況が改善されれば、始業式前に試乗会等があるかもしれません。その場合は、バス運営委員会から連絡を差し上げます。
- 5 1学期は、児童生徒が学校で生活する時間が少なかったため、通知表の「行動の記録」の部分は、記入しておりません。ご了承ください。
- 6 お子様、もしくは同居するご家族から新型コロナウイルス感染者が出た場合は、学校までご連絡をお願いいたします。(夏休み期間中も、平日は、誰かが勤務しております。メールでも結構です。)